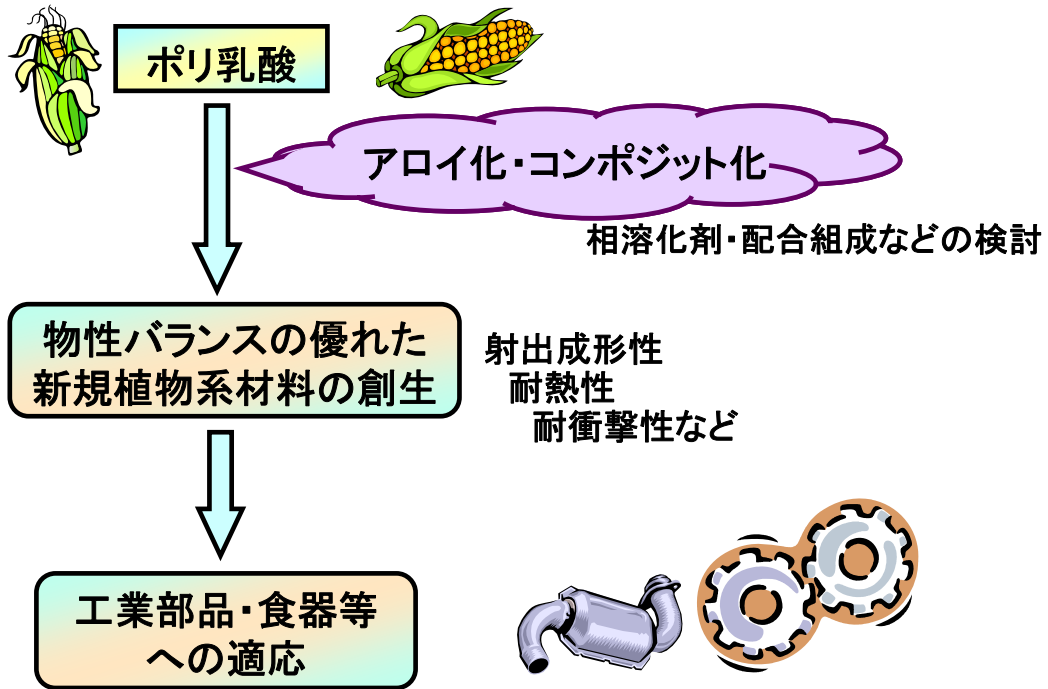
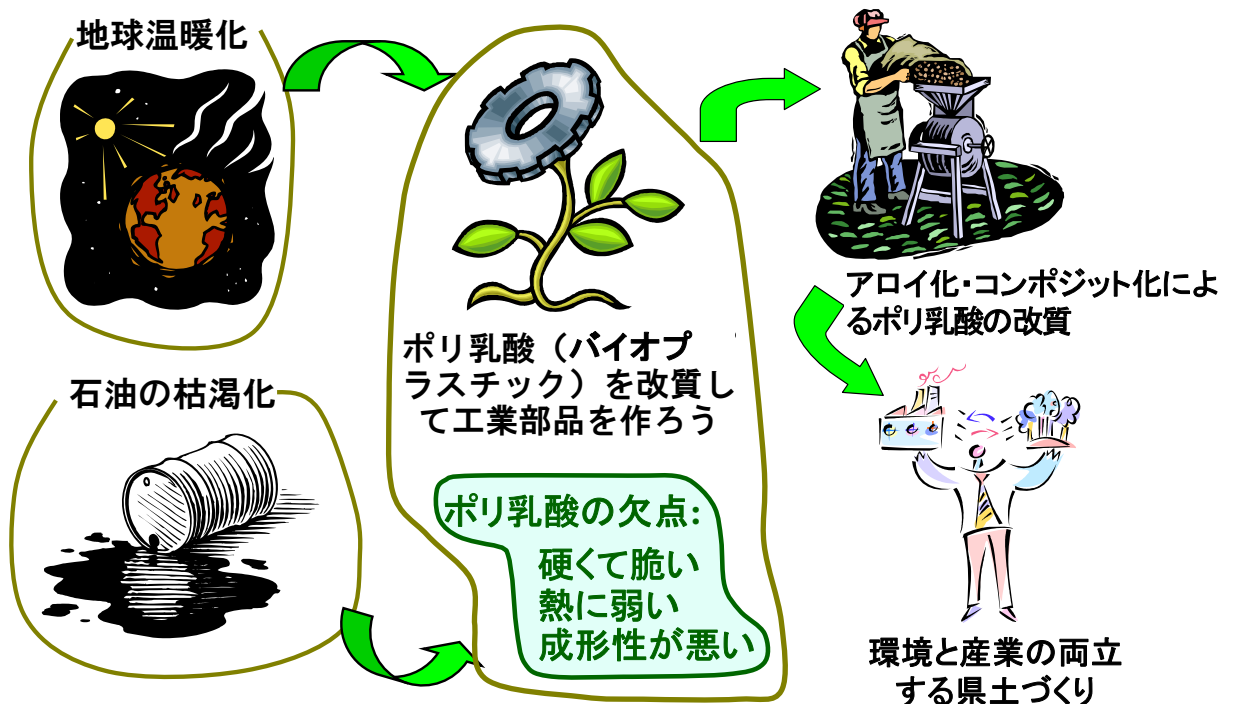


バイオプラ関連の研究

1. 研究の概要

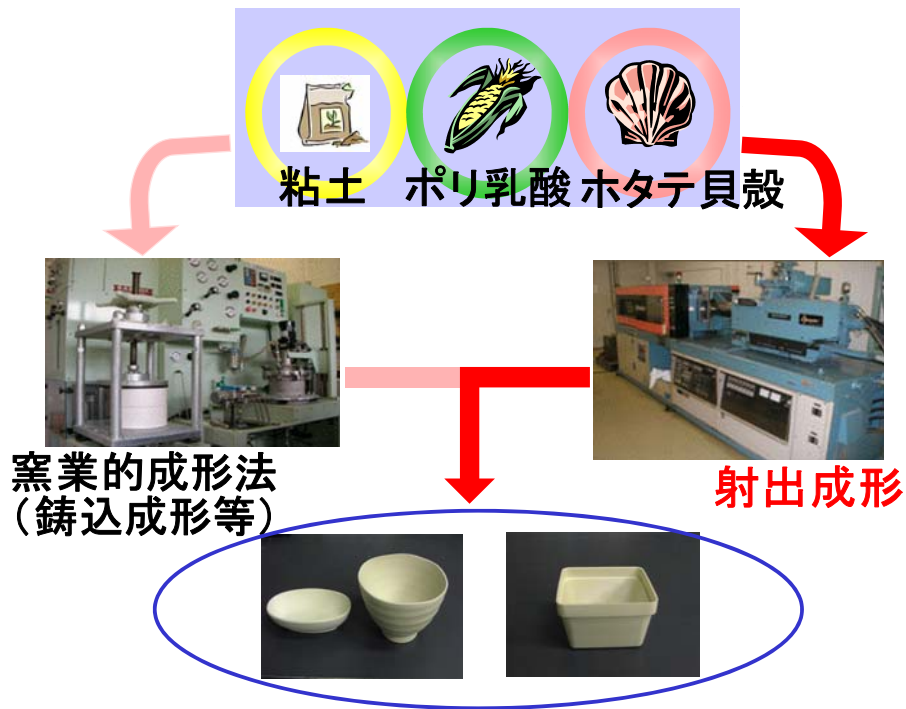


2. 研究の背景



3. 研究内容

(1) バイオマス食器の開発

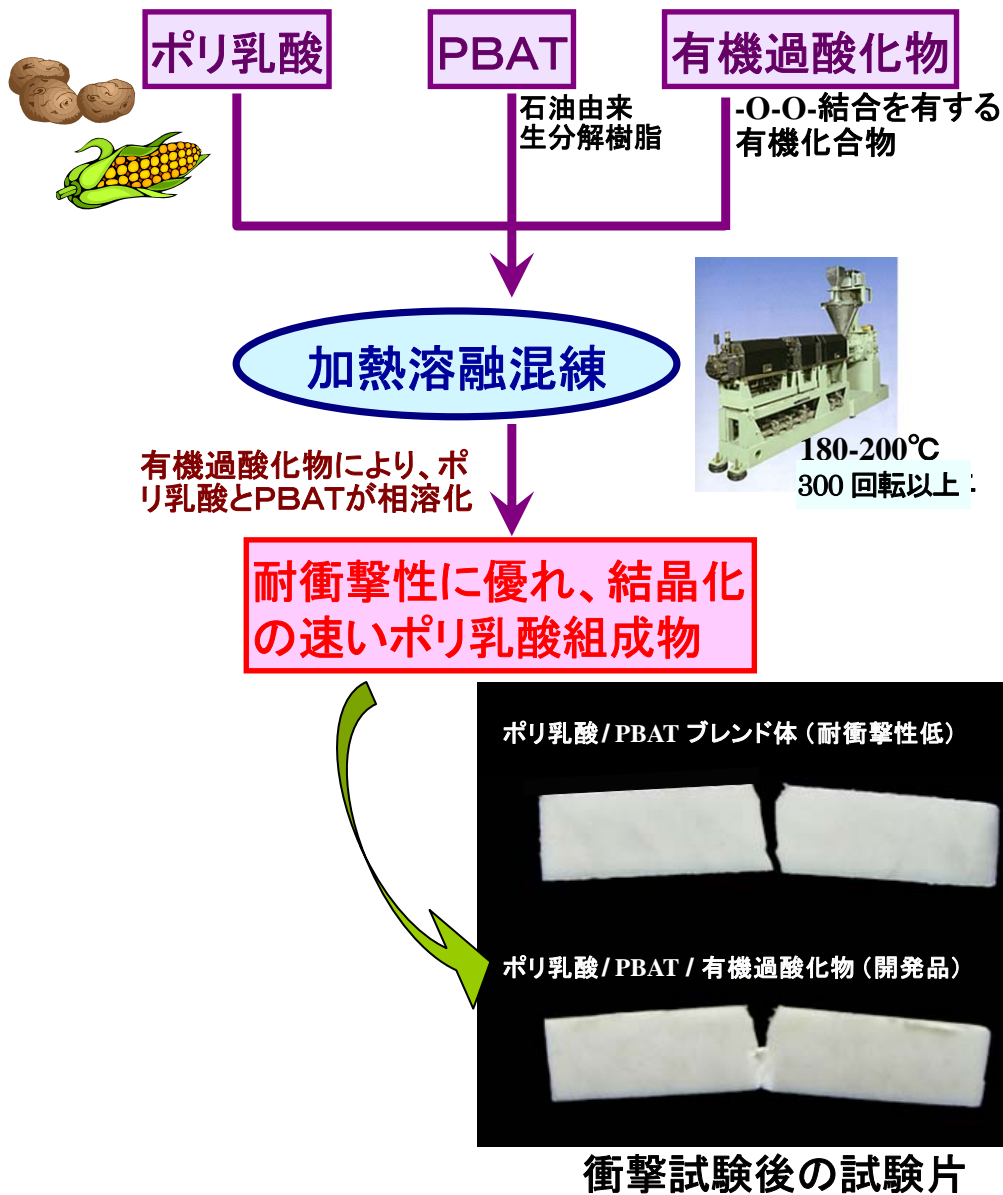


ポリ乳酸に、産業廃棄物として問題になっているホタテ貝殻、天然に産出する粘土をコンポジット化し、環境負荷の低いバイオマス食器を開発しました。
(瀬戸の窯業原料メーカーとの共同研究)

本食器の特徴

- ・ プラスチック成形法、窯業的成形法、いずれの方法でも成形できます。
- ・ 廃棄した場合も微生物により分解され土に戻ります。
- ・ 石油由来プラスチック製食器と同等の耐熱性、耐衝撃性を有し、電子レンジでの使用も可能です。

(2) 耐衝撃性に優れたポリ乳酸アロイの開発



本開発の特徴

- ・ 可塑剤の添加によらずに耐衝撃性を改善できるので、ブリードアウト(可塑剤の経時的流出)や耐熱性の顕著な低下などの問題がありません。
- ・ 結晶化速度が速いので、射出成形時の成形時間の短縮が可能です。